

島根県無形民俗文化財

いと

あやつ

益田糸操り人形

開所50周年記念
特別公演

「出演」益田糸操り人形保持者会

令和4年9月18日(日)

島根県立八雲立つ風土記の丘ガイダンス棟
開演①10時30分②13時30分(開場各30分前)

入場料 一般・大学生300円 高校生以下無料

定員 各回とも50名 8月1日(月)10時より電話予約開始

演目

- 寿三番叟 ●傾城阿波の鳴門巡礼歌の段
- 山本一流獅子の一曲 ●人形解説
- 子ども向け特別プログラム

注意
と
お願い

演目は都合により変更される場合もありますので
予めご了承ください。
録画・写真撮影はお断りいたします。

傾城阿波の鳴門巡礼歌の段

寿三番叟

山本一流獅子の一曲



主催/島根県立八雲立つ風土記の丘・公益財団法人しまね文化振興財団・公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

お問い合わせ
電話予約

島根県立八雲立つ風土記の丘 TEL 0852-23-2485

〒690-0033 島根県松江市大庭町456

新型コロナ感染症拡大防止のためのご案内

●発熱・せき症状など体調不良の症状のある方はご来場をお控え下さい。●当日は非接触型体温計での検温を行い、37.5℃以上の発熱のある方はご入場をご遠慮いただきます。●マスク着用、手洗い、手指消毒などの感染症対策にご協力ください。●お客様の氏名およびご連絡先をお伺いします。公演会場にて新型コロナウイルス感染症の感染発生があった場合には、お預かりした個人情報について保健所等の公的機関へ提供することがあります。●なお、県内の感染状況によっては、公演を中止または内容を変更する場合があります。

傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段

登場する人形はお弓(親)。お鶴(子)の2体です。

徳島藩のお家騒動に絡んで、阿波の十郎兵衛・お弓の夫婦は主君の盗まれた刀を探し出すため、娘のお鶴を徳島に残し、大阪玉造に銀十郎と名を変え盗賊として住んでいます。

そこへ、はるばる徳島から巡礼姿の娘お鶴が父母を尋ねてやってきました。お弓は我が子と分かるが、ここで親子の名乗りをすれば、盗賊の娘として我が子にどんな災いが来るとも限らない。お弓は涙を飲んで見送るのですが、ここで別れては今度いつ会えるか分からぬと必死に追いかけていくのでした。

そのほか、子どもにも楽しんでいただける
特別プログラムのほか人形解説も予定しています。

寿三番叟

古い猿楽芸を伝えているといわれ、狂言では能の翁と同じように祝言曲として取り扱われています。顔見世興行や正月に芝居繁栄を祈っても演じられています。この人形の頭の内部には、作者の大江定丸(1834~86)の銘が書かれています。今回は、八雲立つ風土記の丘の開所50周年を記念し演じます。

山本一流獅子の一曲

おめでたい獅子舞を操り人形で演じます。

今回の獅子は二人の操者で演じます。息の合った動きをご覧ください。この獅子は明治時代、人形が益田に伝わってきた当時のものです。

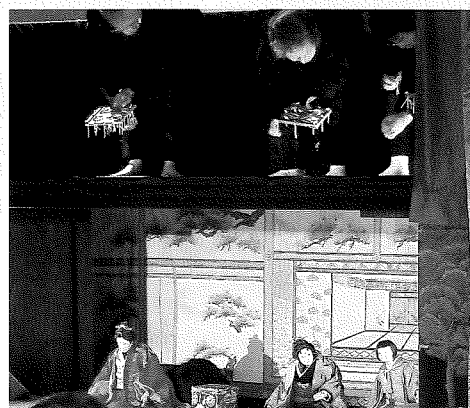


益田糸操り人形について

益田に糸操り人形が伝わったのは、明治20年頃といわれます。当時、東京浅草で糸操り人形芝居を興行していた山本三吉が、関西を経て益田に居を移し、当時盛んだった浄瑠璃の愛好者たちに迎えられ、現在の益田糸操り人形芝居が形作られました。

この人形芝居は、人形操者、太夫、三味線、後見の4役で上演され、地は義太夫節です。人形操者は高さ1.5メートルの板の上から、「四つ目」と呼ばれる手板を使って人形に微妙な動きを与えるもので、手板と人形は13本から18本の糸が繋がれています。このような古くからの糸操り人形芝居の形態のまま上演されるのは、現在国内で唯一無二のものです。

益田操り人形は、昭和38年7月2日に「島根県指定無形民俗文化財」、公演に使用される人形等は、昭和45年10月27日に「島根県指定有形民俗文化財」に指定されています。



秋季特別展のご案内

「出雲・石見・隠岐の古墳文化」

入場料 大人300円(240円) 大学生200円(160円) 幼児・小中高生無料

※()内は20名以上の団体料金

近年、古墳時代の出雲各地でおこなわれた祭祀や玉作りの実態があきらかとなりつつあるほか、石見では益田市域を中心に重要な古墳の発掘調査や資料の再検討が盛んにすすんでいます。また、全国的にみても希少かつ重要な金属製品や土器が奥出雲～邑南地域で認めることができます。隠岐の島町では、古墳時代後期から奈良時代の首長が代々埋葬された大座西2号墳の実態が解明されるなど、島根の古墳時代研究はあたらしい局面を迎えました。

本特別展では、おなじみの出雲の資料を近年の研究成果をふまえてみなおすほか、これまであまり顧みられてこなかった石見・隠岐の重要な資料に光をあてます。この二つの視点から、島根の古墳文化を紐解いてみましょう。

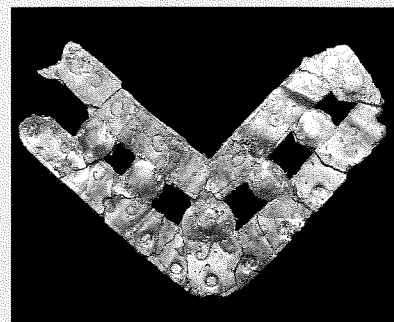
令和4年

9月10日(土)

～11月20日(日)

※毎週火曜日休館

ただし、9/9(金)休館、9/13(火)開館



奥出雲町上芳林遺跡出土金銅製品
(奥出雲町教育委員会蔵・当館撮影)